

マタイ  
英雄

マタイ2章13～23節

「暗闇の時代を  
抜けて」

幼子イエスの出エジプト



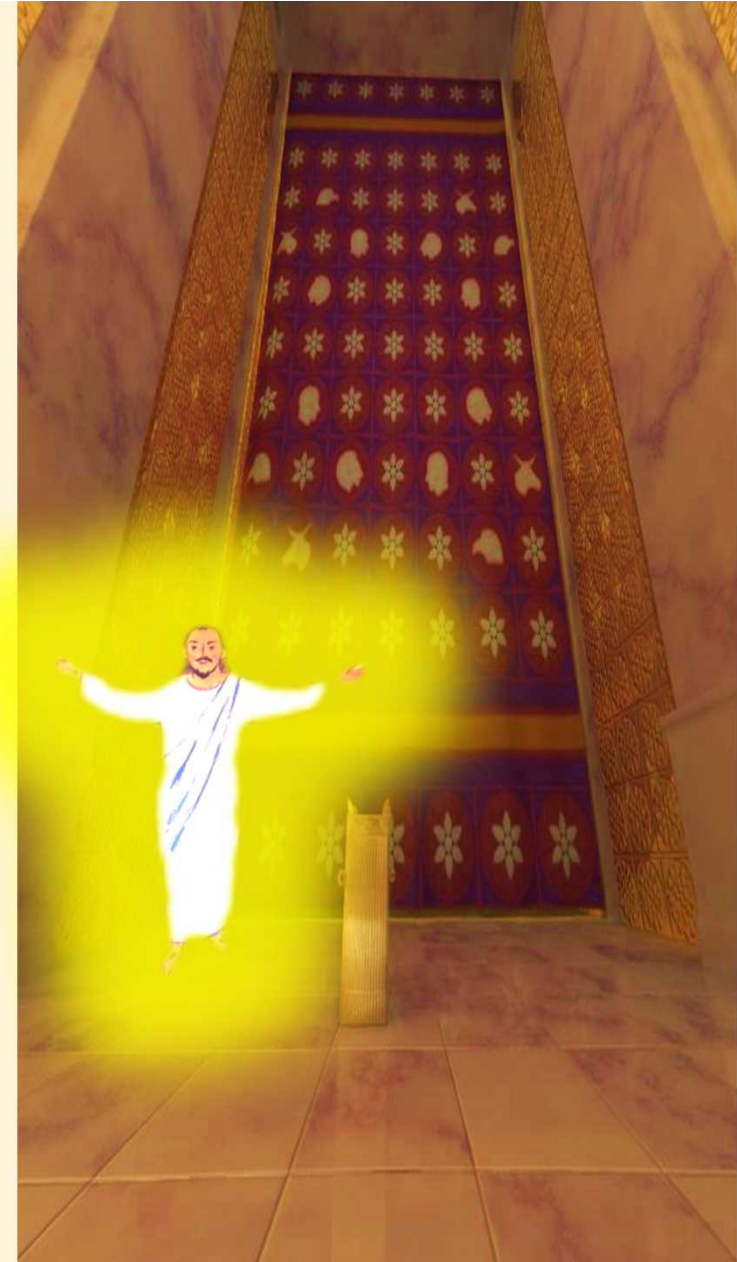
## 【今日のアウトライン】

- 0. メシア聖誕のまとめ
- I. エジプトへの逃避行
- II. ベツレヘムの幼児虐殺
- III. イスラエルへの帰還
- IV. まとめと適用



## 【洗礼者ヨハネの誕生】 ルカ1章

- 祭司ザカリアに、天使が現れ、妻エリサベツの懐妊が告げられた。
- メシア登場を告げる最後の預言者、先駆者である洗礼者ヨハネが誕生!!
- 洗礼者ヨハネは、イスラエルを悔い改めに導き、メシア到来の準備をする。



## 【メシアの受胎告知】 ルカ1章

- かつてダニエルにメシア預言を告げた、天使ガブリエルが、マリアに現れた。
- イザヤ7章の預言が成就し、処女マリアは、聖霊の力によって、メシアを身ごもった。
- マリアは、従順に受け入れ、アブラハム契約の成就を覚え、主を讃えた。



## 【メシアの誕生】 ルカ2章

- メシアは、ミカ書の預言通り、ベツレヘムで誕生。
- 天使の告知を受けた荒野の羊飼いたちが、イスラエルの、メシアの最初の目撃者となった。
- 布で包まれ、飼い葉桶に寝かされたメシアは、死者の葬りを思わせる姿だった。
- 人類の罪の贖いのため、死ぬために生まれた。それが、人となられた神の子イエス。その身に神の栄光を宿して、世に来られた。



## 【メシアの受胎告知】 ルカ1章

- かつてダニエルにメシア預言を告げた、天使ガブリエルが、マリアに現れた。
- イザヤ7章の預言が成就し、処女マリアは、聖霊の力によって、メシアを身ごもった。
- マリアは、従順に受け入れ、アブラハム契約の成就を覚え、主を讃えた。



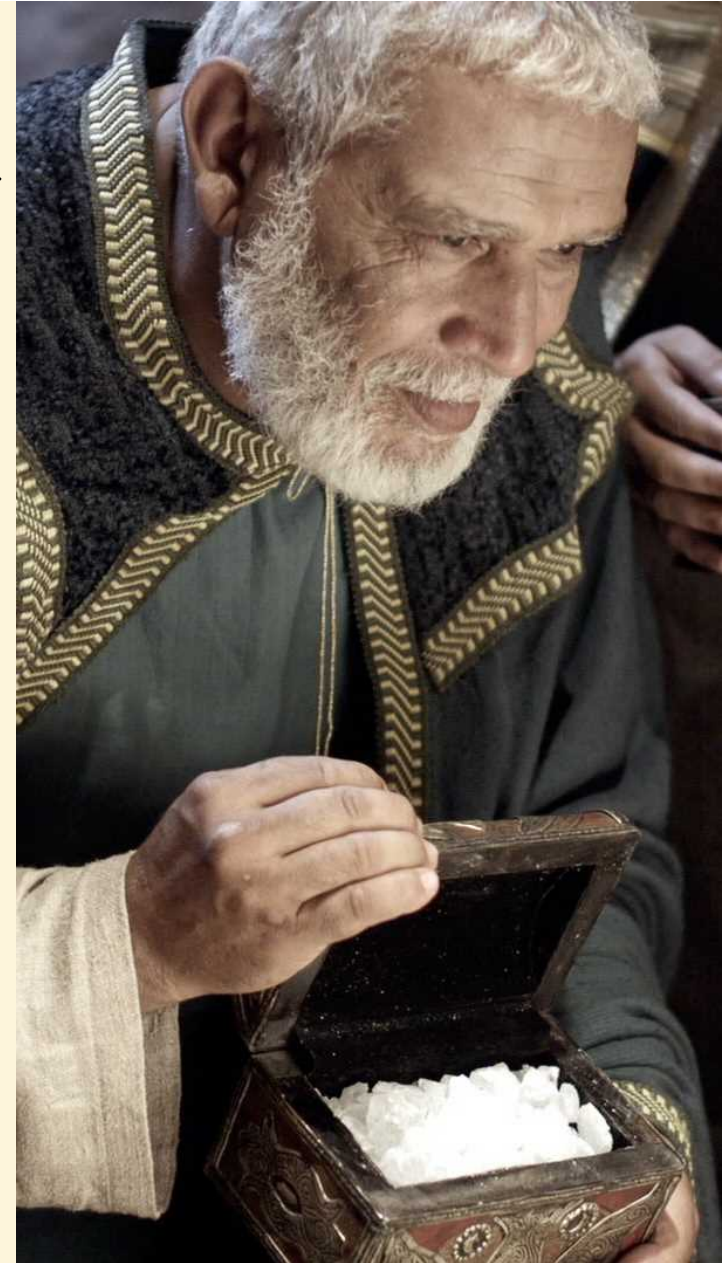
## 【東方の博士たちの訪問】 マタイ2章

■ 神の栄光を目撃したバビロンの博士たちは、バラム、ダニエルの預言から、メシア誕生を確信。2年の歳月をかけて、イスラエルへ、メシアを礼拝するためにやってきた。

■ 彼らが納めた宝物は、メシアの性質を表す。

- ① 黄金 ...世界を治める**王**
- ② 乳香 ...礼拝すべき**神**
- ③ 没薬 ...人類の**罪の贖い**として死ぬ方

■ 彼らは、異邦人の最初の礼拝者となった。



# I. エジプトへの逃避行

マタイ2:13~15





## 【天使の警告】マタ2:13

彼らが帰って行ったとき\*、見よ、主の使いが夢でヨセフに現れて言った。「立って、幼子とその母を連れ、エジプトへ逃げなさい\*。そして、私が知らせるまで、そこにいなさい。ヘロデがこの幼子を捜し出して殺そうとしています。」

- \* 博士たちも夢のお告げを受け、ヘロデを避け、エルサレムに立ち寄らず、帰って行った。
- \* 当時、エジプトには100万人のユダヤ人が!!ローマの属州。ヘロデも手が出せなかった。



## 【イスラエルの逃れの地 エジプトとは？】

イスラエルからは、約100km。歩いて1週間ほどの距離。

ナイル川に潤された豊饒の地。

アブラハムが一時逃れ、ヤコブの代に移住。  
その子孫は、400年間で、イスラエル民族へと成長、  
モーセの代に脱出し、約束の地に帰還した。

豊かさでイスラエルを魅了し、偶像礼拝で誘惑した地。

## 【エジプト滞在】 マタ2:14～15

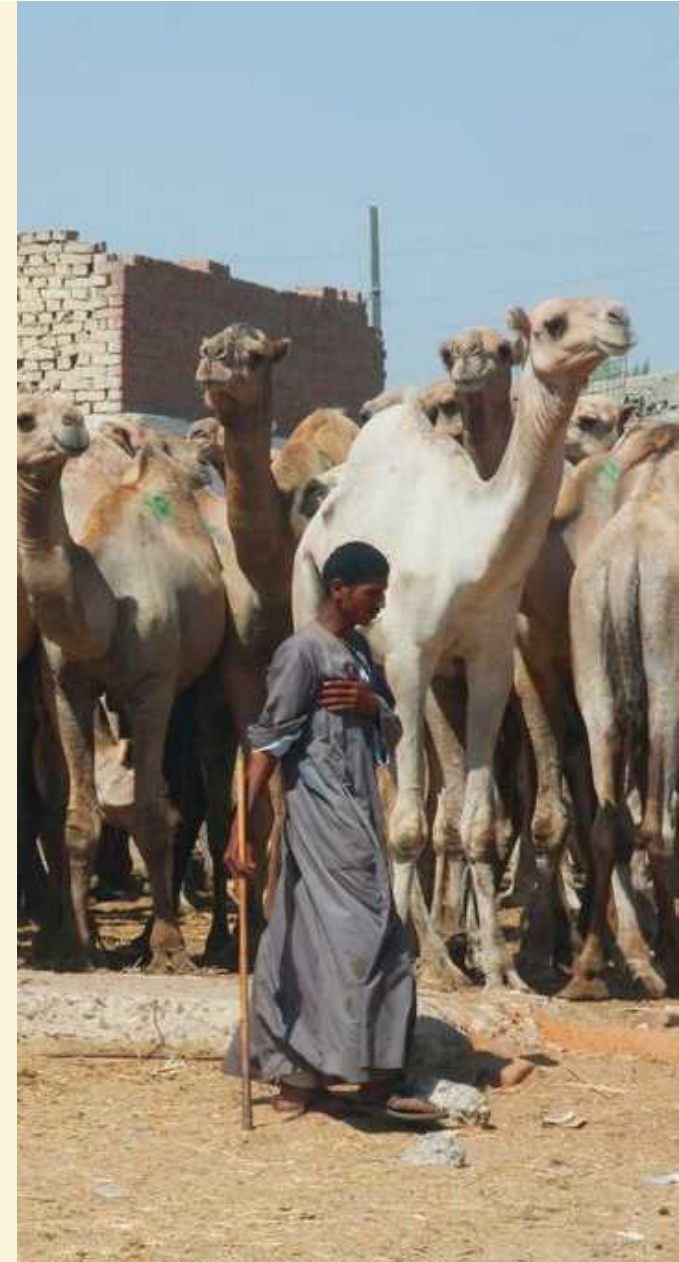
そこで、ヨセフは立って、夜のうちに幼子とその母を連れてエジプトに立ちのき、ヘロデが死ぬまでそこにいた。\*

\*ヨセフ一家は、エジプトのユダヤ人共同体で過ごしていた。

■ 滞在費は？

ヨセフは、幼児奉獻式で、鳩を捧げるほどに貧乏だった。(ルカ2:24) ←通常は羊。

■ 博士たちの贈った宝物が、滞在費に!!



## 【メシア預言成就の宣言】 マタ 2:15

これは、主が預言者を通して、「わたしはエジプトから、わたしの子を呼び出した\*」と言われた事が成就するためであった。

### \* ホセア書11:1の引用

「イスラエルが幼いころ、わたしは彼を愛し、わたしの子をエジプトから呼び出した。」

- イスラエルの出エジプトという壮大な出来事そのものが、メシアを示す影でしかない!!
- メシアは、イスラエルを真実の解放へ導く!!



## Ⅱ. ベツレヘムの幼児虐殺

マタイ2:16~18



ヘロディウム要塞

## 【ヘロデによる幼児虐殺】マタイ2:16

その後、ヘロデは、博士たちにだまされたことがわかると、非常におこって、人をやって、ベツレヘムとその近辺の二歳以下の男の子をひとり残らず殺させた。\*その年齢は博士たちから突き止めておいた時間から割り出したのである。

\* 小さな村ベツレヘムでは、20人前後か？

■ ヘロデは、妻や息子まで殺している。

議員の半数が殺されたという記録も...

■ ヘロデが生涯行った大量の殺戮の中では、記録にも残らないできごとだった...



## 【エレミヤ書の預言の成就】 マタ2:17～18

そのとき、預言者エレミヤを通して言われた事\*が成就した。「ラマで声がある。泣き、そして嘆き叫ぶ声。ラケル\*がその子らのために泣いている。ラケルは慰められることを拒んだ。子らがもういないからだ。」

\* エレミヤ31:15からの引用

\* ラケル ...ヤコブの妻、ヨセフ、ベニヤミンの母

→ここでは、イスラエルの母たちの象徴。

バビロン捕囚で息子を連行されたイスラエルの母たちの苦しみを神が告げたもの

■ イスラエルの苦難そのものが、

メシアへの迫害を示す影であるということ。





### Ⅲ. イスラエルへの帰還

マタイ2:19~23



## 【ヘロデ大王の死】マタ2:19～20

ヘロデが死ぬと\*、見よ、主の使いが、夢でエジプトにいるヨセフに現れて、言った。

「立って、幼子とその母を連れて、イスラエルの地に行きなさい。幼子のいのちをつねらっていた人たちは死にました。」

\* 70歳頃に死去。遺体はヘロディウムに埋葬。死の直前に息子を処刑するなど、血肉との争いに明け暮れた晩年だった。

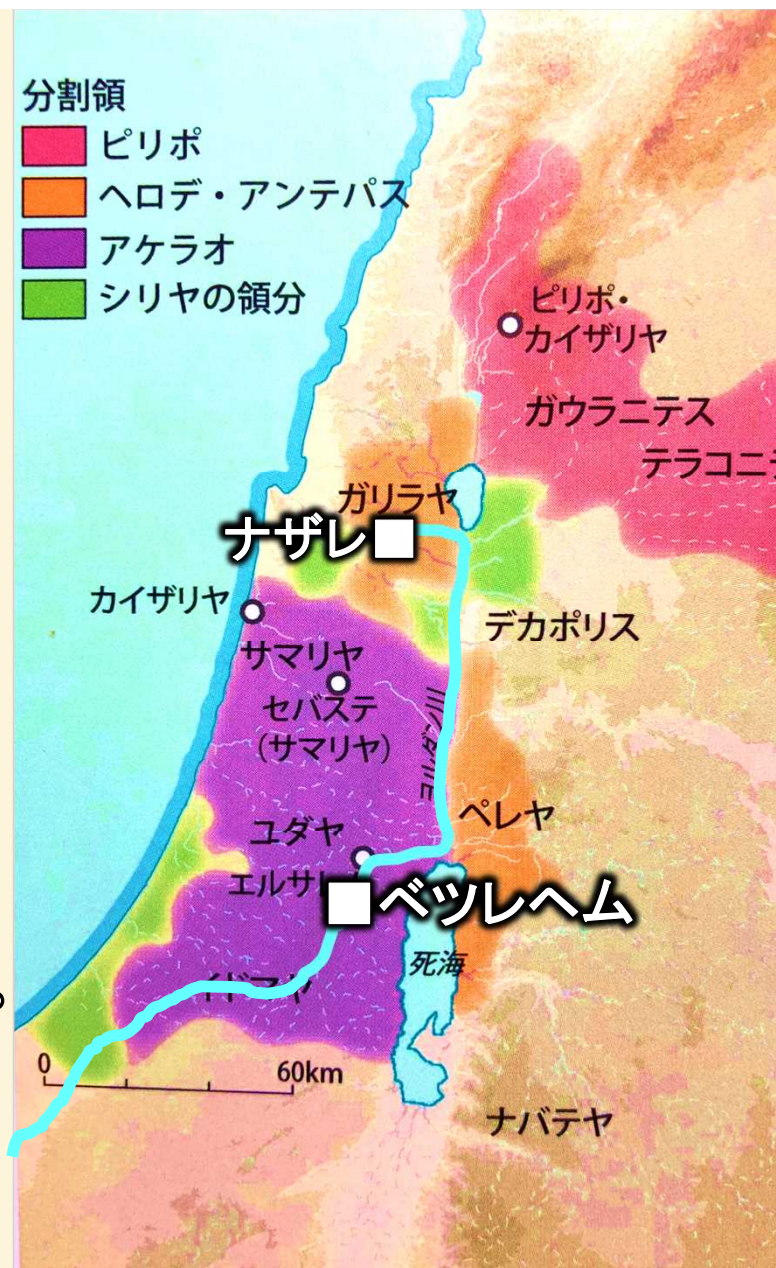


## 【イスラエルへの帰還】 マタ2:21～22

そこで、彼は立って、幼子とその母を連れて、イスラエルの地に入った。

しかし、アケラオ\*が父ヘロデに代わってユダヤを治めていると聞いたので、そこに行くとどまることを恐れた。そして、夢で戒めを受けたので、ガリラヤ地方に立ちのいた。

\* ヘロデの息子の一人。 ...三分割されたイスラエルのエルサレム、ユダの領主となった。父に劣らぬ残忍さと支配欲がたたリ、領主の座を奪われ、ユダは、ローマの直轄地に!!



## 【ナザレの町で】 マタ2:23

そして、ナザレという町に行って住んだ。これは預言者たちを通して「この方はナザレ人と呼ばれる\*」と言われた事が成就するためであった。

- \* 預言者たちの預言に、  
ナザレという名は一つも出てこない!!  
➡メシア預言全体を総括したもの!!

「ナザレから何の良いものが出るだろう？」

ヨハネ1:46

メシアの登場を聞いた、ナタナエルの言葉。

■ メシアは、無名の町から出るということ!!



## IV. まとめと適用

メシアの影である出エジプト



## 【イスラエルとメシアの出エジプト】

### ■イスラエル

ヤコブの代に、大飢饉を逃れてエジプトへ。  
400年間で、数百万のイスラエル民族に成長し、  
奴隷の身から解放され、神に導かれてエジプトを脱出。

### ■メシア

2歳の時に、迫害を逃れてエジプトへ。  
ヘロデ大王の死後、イスラエルの無名の地ナザレへ帰還。

誰の目にもとまらなかった、この小さな出来事こそが、原型。本体。

## 【メシア聖誕の意味を確認しよう】

- メシアは、無力な赤ん坊として誕生された。
- 神である方が、死者のような姿で飼い葉おけに寝かされた。
- メシアは、私の身代わりとなって十字架にかけられ、私の罪をあがなうために、人として来られた。
  
- メシア聖誕を祝い、礼拝したのは、貧しい羊飼いたちと異邦人の博士たちだけ。
- 幼児虐殺の悲劇すら、歴史に記されもしなかった。
- メシアのエジプトでの数年を知るのは、ヨセフとマリアのみ。

神の子であるメシアは、誰よりも小さく、弱い者として世に来られた。

**【メシアは、あなたの命を贖うために地上に来られた】** ピリピ<sup>2</sup>:6~11

キリストは神の御姿である方なのに、神のあり方を捨てられないとは考えず、ご自分を無にして、仕える者の姿をとり、人間と同じようになられました。人としての性質をもって現れ、自分を卑しくし、死にまで従い、実に十字架の死にまでも従われました。

それゆえ神は、この方を高く上げて、すべての名にまさる名をお与えになりました。

それは、イエスの御名によって、天にあるもの、地にあるもの、地の下にあるもののすべてが、ひざをかがめ、すべての口が、「イエス・キリストは主である」と告白して、父なる神がほめたたえられるためです。

**誰よりも低くされたメシアが、私の罪を負い、死んで、復活された!!**

## 【クリスマスに、心に刻むべきこと】

- 主イエス・キリストは、私の身代わりとして、死ぬために来られた。
- 主イエス・キリストは、私の罪を負って、最悪の十字架刑に処せられた。  
無力な赤ん坊として生まれ、物言わぬ死者として墓に葬られた。
- まったくの無実である方が、辱めの極みを、その身に味わい尽くされた。
- 陰府にくだりながら、しかし、死を打ち破って復活された。
- 主イエスは、今も生きておられ、  
私たちの祈りを、父なる神にとりなされている。
- 再臨の主イエスは、完全に回復された世界で、永遠の王となられる。

**わたしのメシア、わたしの贖い主、わたしの国の王を讃えよう!!**



「天のお父さま。

あなたに背(そむ)き、あなたから離(はな)れていたわたしの罪(つみ)をゆるしてください。

わたしは、御子(みこ)イエス・キリストが、

①わたしの罪(つみ)を贖(あがな)うために十字架で死に、

②墓(はか)に葬(ほうむ)られ、

③三日目に復活(ふっかつ)したことを信(しん)じます。

この御業(みわざ)を 成(な)し遂(と)げるため、

主(しゅ)イエスは、世(よ)の誰(だれ)よりも低(ひく)いものとなられました。今、主の御前(みまえ)に ひざまずきます。

どうか、この身(み)を、完全(かんぜん)に主のものとしてください。

感謝(かんしゃ)して、主(しゅ)イエス・キリストの

御名(みな)によって 祈(いの)ります。アーメン」